

杉外壁・加工丸太 ジョイントウォール 施工上の注意

必ず施工前にお読みください。

■施工前に以下の点をご確認ください。

- ・杉外壁・加工丸太・ジョイントウォールは無塗装品のため、外壁にご使用の際には表面などに塗装の処理を必ずお願いします。塗料は木材製品専用で、板の呼吸を妨げない「浸透性保護塗料」をお勧めします。
- ・自然木製品のため、気候、日照条件、立地条件などにより、色の違いが目立つようになることがありますので、あらかじめご了承ください。また、風雨による劣化により同様の現象が起こることがあります。
- ・ご使用前の保管につきましては、直射日光や雨水のかかる場所、および湿気の多い場所を避けて保管してください。

■安全にご使用いただくために

- ・商品を取り扱う際は、トゲなどによるけがの防止、商品の汚れ防止のため、必ず手袋を装着してください。
- ・商品を切断、切削する際は、必ず防塵マスクを装着して作業してください。
- ・木製品は柔らかく破損しやすいので、保管、移動、再梱包の際は慎重な取り扱いをお願いします。

■施工上のお願い

①自然木製品のため、一枚一枚色調、木目が異なるので、施工前には必ず仮並べをし、色調をご確認のうえ施工してください。

②立地環境に応じ、クリアランス（隙間）を考慮しながら施工してください。

③下地施工

- 防水シート（厚さ0.1mm以上）を必ず使用してください。
- 水切りを必ず使用してください。基礎などに杉の灰汁が付着し、基礎などを汚す場合があります。また、外壁の上部まで杉板を施工する場合は、同時に中間水切りも使用してください。

●杉外壁・加工丸太・ジョイントウォールを横張りする場合

- ・壁面の最下端を水平に墨出しし、基準線とします。
- ・基準線から垂直に、303mmの間隔で縦胴縁（18mm×45mm以上）を取り付けます。
- ・外装材の左右接合部、開口部周囲、出入隅部分の胴縁は、倍の巾（90mm）を使用してください。
- ・ジョイントウォールは働き巾の170ピッチで割付けの上、施工をお願いします。押え縁使用時は、押え縁に合わせて割付けしてください。

●杉外壁・加工丸太を縦張りする場合

- ・壁面の最下端を水平に墨出しし、基準線とします。
- ・基準線から平行に、303mmの間隔で横胴縁（18mm×45mm以上）を取り付けます。
- ・外装材の上下接合部、開口部周囲、出入隅部分の胴縁は、倍の巾（90mm）を使用してください。
- 胴縁の固定は、長さ50mm以上の平頭スクリュー釘を使用してください。
- 胴縁は乾燥したものを使用してください。反り、割れ、突き上げなどの原因になります。
- 外壁リフォームの場合、既存壁内部の胴縁、柱の位置をあらかじめ墨出ししておくことで、新規胴縁の取り付けが効率よく行えます。

④下地への固定

- フィニッシュネイル（針釘）は絶対に使用しないでください。
- 小口に近い箇所は必ず仮穴を施してから釘打ちをしてください。
- 釘は板厚3倍以上の平頭リング釘または平頭スクリュー釘を使用してください。
- 杉外壁・ジョイントウォールにおいては、釘を脳天打ちとしてください。
- 釘頭が目立つ場合には、塗装色と同系色で塗装してください。
- 釘を打つ位置は、各商品ページの断面図に記載しておりますので参考にしてください。
- 接着剤の使用はしないでください。（割れなどの原因になります）

